

議事録

第2回 西東京市立田無第三中学校 学校運営協議会（要点記録）
日 時 令和8年7月3日（金）午後2時30分から午後3時30まで 場 所 田無第三中学校第2音楽室 出席者 宇田 剛会長、曾我部 多美副会長、島崎 寛巳副会長、本田 雄三委員、 伊藤 慎一委員、加藤 直美委員、鈴木 愛美委員、鈴木英暁委員、 大久保 順子校長、 （学校職員）脇山 聖司副校長 窪田 将樹主幹教諭 欠席者 小保内 俊雅委員、 委員 10 名中9名出席により、本会議は成立
次第1 校長挨拶
次第2 会長挨拶
次第3 協議【進行 宇田会長】 会長 それでは、次第3（1）学校の報告をお願いします。 （1）報告（副校長説明） ・入学式では、新入生は 132 名で、全家庭が参列した。 ・学校公開は、1 年生の家庭の参加者が多かった。少人数クラスでの授業会場が、保護者に分かりづらかったので、対応を考える。 ・保護者会を全体会と学年主任の話はオンラインで実施した。保護者からは担任との対話を求める声も多い。時間を十分に確保することも検討する。 ・部活動について、全校生徒の 82%が部活動に在籍している。外部指導者を交えて運営しているため、学校の方針を指導者へしっかり共有していく。 ・運動会では、テント設営など保護者の協力が得られたことは非常に大きな助けとなった。保護者アンケートでは、概ね好評の感想をいただいた。一方で、自転車や日傘の使用など、参観のマナーに関するご意見をいただいた。今後、ご協力いただけるよう、啓発を続けていく。 ・期末考査前の質問教室・自習教室について3年生の利用者が特に多い。開催日数を増やすことの要望もあった。 ・期末考査の結果では、数学・英語では、2極化の傾向が見られるため、今後の対応を考えている。 会長 ご意見などあればお願いします。 委員 期末考査前に質問教室を実施するのは大変良い取組であると思います。 委員 普段、生徒が授業中の最後に先生に質問する時間を設けることはできるのですか。 校長 1単位時間の中で設定するのは大変難しい。個別のフォローについては、振り返りカード等を通じて対応を考えています。 委員 生徒の団結力が育っているのは、大変良いことです。純粹に向き合っている様子が見られて嬉しいです。

(2) 協議「令和8年度学校評価について」

会長 それでは、今年度の学校評価について説明をお願いしたい。

(校長説明)

- ・今年度の評価計画表の案について、学校教育目標、前年度の課題、中期経営目標、そして具体的方策を記載している。
- ・授業の取組については、生徒のアンケートでは学習の流れを意識しているかを訪ね、保護者には本校の取組について理解されているかを質問している。
- ・「家庭学習」については、生徒には自分の取組の状況を尋ね、保護者には、学校の取組について周知できているかを質問している。
- ・行事等での対話の場を充実について、生徒には友達と十分に意見を交流しているかを尋ね、保護者には、話し合い活動の機会が十分に設けられているかを質問している。
- ・規律や礼儀、挨拶、言葉遣いなどについては、生徒・保護者共に質問している。
- ・地域貢献に関する項目を入れている。
- ・第1回の評価を7月、第2回を12月に行い、学校関係者評価として改めて学校運営委員会でご意見を頂戴し、来年度の教育計画に反映させていきたい。

委員長 それでは、ご質問やご意見をお願いします。

委員 普段の学校生活について、保護者には分かりづらい部分があることを考慮されていることが分かりました。質問の文が長い印象を受けました。見やすくすることも回答しやすさにつながっていくのではないのでしょうか。

委員 保護者の方にアンケートを行う際、「お子さんは～ですか」とするのか、「学校は～していると感じますか」とするのか。「お子さんは～」にすると、保護者は子どもに聞かないと答えられないと思います。

委員 学習計画については、「学習計画を見ているか」といった具体的な見えているところに絞ると、とてもシンプルになって保護者は、アンケートに答えやすくなると思います。学校が一番問いたいものだけに絞り込んでいくと、回答もしやすくなるのではないのでしょうか。

校長 ありがとうございます。項目をシンプルにしたり、学校が見たいものに特化した表現にしたりするのは大切ですね。

委員 学校経営の中で一番頑張っていること、例えば「学校が楽しいと言っていますか」といった、親の立場で答えやすい項目も入れてみると良いのではないのでしょうか。

校長 ご意見を参考に、保護者目線でより分かりやすく、答えやすい評価項目になるよう、見直してまいります。

(3) その他、意見交換

会長 その他、話題にしたいことがあれば、お願いします。

校長 タブレット端末のフィルタリングを生徒が解除してしまうことがありました。

委員 システム上、フィルタリングを解除できることについて、子どもたちは、興味本位でいろいろ試してみたいくなることもあると思います。もちろんいけないことは、注意していくべきですが、生徒が試行錯誤することを完全に制することは難しいのではないのでしょうか。

委員 大人側でそのことを理解していないと、また同じことが起こってしまうのではないかと思います。

委員 情報モラル教育は大切だが、子どものほうがテクノロジーの理解が早いです。子どもたちが自分で律することができるようになる教育が必要なのとともに、万が一巻き込まれてしまったときの相談窓口や逃げ道が子どもにとって分かりやすく用意されていることも必要だと思います。特殊詐欺などについても心配です。

校長 生徒自身が素直に間違いを認め、謝ることができることは大切です。すぐ誰かに相談できる環境づくりと情報モラル教育の充実について、今後も学校と保護者で確認し合いながら対応を考えていきます。引き続き指導に当たってまいります。

会長 ありがとうございます。それでは承認となりました。それでは、司会を戻します。

副校長 最後に事務連絡です。次回は 10 月 2 日金曜日午後 2 時 30 分から午後 3 時 30 分までを予定しています。

以上をもちまして第 2 回学校運営協議会終了となります。ありがとうございました